

高校をどのよう に選ぶか

～大学受験を見据えた高校選択～

文教大学付属高等学校
教頭 銅谷 新吾
(前世田谷区立駒留中学校長)



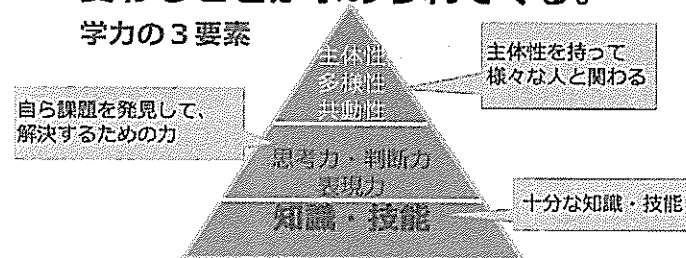
これからの社会は、何が変わるか？

- ①労働力人口の減少
・・・2060年の人口は、現在の2/3に
- ②産業構造の変化
・・・情報・サービス業の割合が増える
- ③グローバル化
・・・優秀人材は「国籍」関係なく雇用・同僚が外国人
- ④技術革新のスピード化
・・・AIで仕事がなくなる。業種の壁がなくなる。



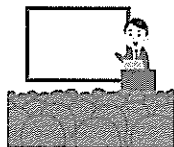
大学や高校での学びも 変わることが求められる。

学力の3要素



具体的に何が変わる？

- ①マークシートのみから、マークシートと記述式に
(国・数・理科・地歴・公民)
- ②英語は、「読む」「聞く」だけでなく、「書く」「話す」を取り入れ、民間の認定試験も選択できる。
- ③高校の学校内外の活動も選考に入る可能性がある。
- ④現在の推薦入試や、AO入試も変わる可能性がある。



どうすればいいか？

- ①「知識・技能」はすべてのベースになるので大切。
・・・基礎基本の反復をする。苦手科目の克服を進める。
- ②文章をしっかりと読み取り、課題を把握する力をつける。
・・・読み取る力、自分で考える力をつける。
- ③幅広い教養と文章力も必要。
・・・論説文、長文へ取り組む、新聞や読書も大切。
- ④アウトプットする力をつける。
・・・他人に説明したり、書くことで自分の知識が確実になる。



自分のキャリアを考えた、 高校選択について

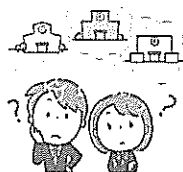


キャリアとは・・・働くことに関わる途中の過程や生き方
(人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね)
将来どんな仕事や、どんな方面に進みたいかをしっかりと考え、高校を選択する。

高校の選択の方法①

選択のポイント①

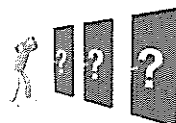
- ・・・都立・私立・通学の便
- 授業内容・進路実績・学校行事
- 部活動・校風・生活指導・校舎
- 施設設備・難易度・制服・その他



高校の選択の方法②

選択のポイント②

- 学校案内やHPをしっかりと読み取る。
- 教育課程表で授業時数を確認・学習指導の特徴(少人数・習熟度授業)・進路実績(大学合格者/卒業生数)
- 進学のためのプログラム・キャリア教育のプログラム
- 生活指導の重点・特色ある学校行事・部活動などを調べる



高校の選択の方法③

選択のポイント③

「学校見学は必ず行くこと」

教育サービスの質を見る

- 授業中の生徒は？
- 施設・設備の状況、清掃の状況は？
- 教職員の対応や案内は？
- 授業以外の進学・進路のプログラムは？

	都立	私立	通学	授業	施設	教員	進路
1校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
7校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
8校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
9校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
10校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

毎日通学する場所です。通学経路や時間も大切。3年間で、700回位往復します。

この高校に通うことで、どのような夢が叶うか？

高校の選択の方法④

選択のポイント④

高校ホームページで、情報を確認する。

「過去の倍率」「試験の配点」「作文・集団討論のテーマ」「推薦基準」「期待する生徒の姿」「採点の基準」「部活動見学会・体験授業の申し込み方法」「個別相談」など様々な情報が出ています。



高校受験に向けてどのように学習すれば良いか？

③やる気集中力を上げる工夫

同じ教科の連続は、集中しづらいので、得意教科からはじめて50分で、苦手教科へ。

学習の目標を書いたり、周囲の人に話して宣言する。

「〇〇高を受験」「苦手科目の得点アップ」

「〇月までに、〇〇を仕上げる」など



高校受験に向けてどのように学習すれば良いか？

①基礎をしっかりと固める。

高校受験で出る問題は、ほとんどが基礎問題、受験教科の基礎問題で、ミスをせずにしっかりと得点を重ねること。



高校受験に向けてどのように学習すれば良いか？

④トータルの時間数を増やす

長時間の集中は難しいので、朝・昼・夜の合計の学習時間を増やす。

(受験は朝なので、特に朝はおすすめ)

スキマ時間も活用する。

(登校までの時間、休み時間)



高校受験に向けてどのように学習すれば良いか？

②苦手科目に取り組む

得意科目の+5点より、苦手科目の+10点を狙う。

得意科目の、80点を85点にするより
苦手科目の、40点を50点にする方が楽
合計点で合否は決まる。



高校受験に向けてどのように学習すれば良いか？

⑤苦手科目は、その中での得意な分野

をつくる。たとえば

英語・・・単語・熟語を覚える

数学・・・文章題・図形など得意な単元をつくる

国語・・・「漢字」「語句の意味」を覚える

社会・・・ニュースや新聞で公民分野を学ぶ

理科・・・生物・実験など得意な分野をつくる



高校受験に向けてどのように学習すれば良いか？

⑥学校の勉強・授業を大切に。受験にテクニックや、ウラ技はありません。受験教科ではない教科も含めて、「授業を大切にすること」「定期テストの準備をすること」がすべてです。

「私は塾に行っているから、学校の勉強は・・・」などはとんでもないことです。

絶対にダメ!!



あなたは、 何のために勉強しますか？

あなたの答え

「
」

スバリ
なんでしょう!!



2019年7月吉日

弦和会会員の皆さま

世田谷区立弦巻中学校
弦和会会長 松岡久美
研修委員長 伊熊真穂

第1回家庭教育学級「高校をどのように選ぶか」講演会終了のご報告

盛夏の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る6月22日(土)に開催しました第1回家庭教育学級「高校をどのように選ぶか」～大学入試を見据えた高校選択～には多数ご参加いただきありがとうございました。当日は、1年生から3年生の保護者・生徒の皆様のご参加のもと、前駒留中学校長で現在文教大学付属中・高教頭の銅谷新吾様をお招きしてお話いただきました。簡単ですが講演内容の一部をご紹介します。

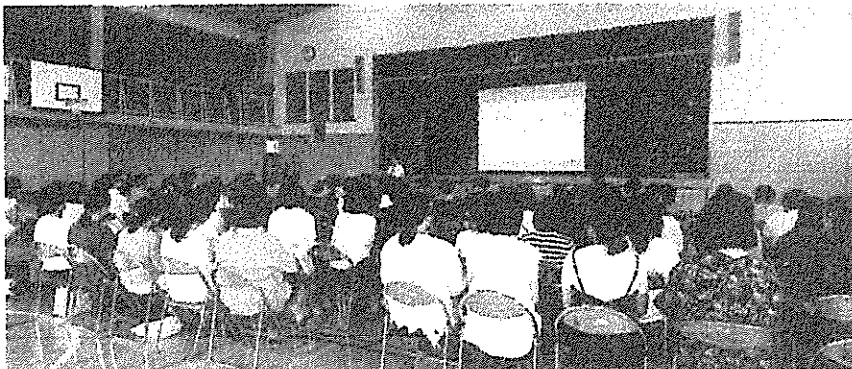
《講演内容》

- ① これからの社会で何が求められているか
企業が求める人材ーコミュニケーション能力、主体性、チャレンジ精神、協調性等
- ② 変わる大学入試 「学び」が変わると「入試」も変わる
マークシートに記述式が加わる。英語は「読む」「聞く」に「書く」「話す」を取り入れ、民間の認定試験も選択できる。高校の学校内外の活動も選考に入る可能性がある。
- ③ 高校の選択のポイント
学校案内やHPをしっかりと読んで候補を絞りこむ。学校見学は必ず行く。
- ④ 高校受験に向けての勉強法
学校の授業を大切にする。基礎を固める。得意科目から勉強を始めると集中しやすい。苦手科目に取り組み、苦手な中でも単語や漢字などの得意分野を作る。



《アンケートより参加者の感想》

- ・今後の進路に向けて親の知識も増やすいい機会になった。
- ・大学入試改革に備えての高校の選び方の参考になり良かった。
- ・高校選択の具体的なポイントがわかりやすかった。



以上